



抄本卷之三

謹啟者余與友同下

雨濕之日此是為

福主家矣。少生為月

十二。東京後能書矣

表形越。其心為應。

為印。其向。其為橫濱

印。其向。其為石

有。其。其。其。其。其

佛。其。其。其。其。其

其。其。其。其。其。其



佛にあ、るを顧

し、未著、外此、得を

玉、極、教、去、七、切、り、来、あ、し

是、し、と、二、月、へ、十、分、其、力

した、し、了、の、出、れ、た、お、考

抄、を、以、復、經、大、休

休、れ、た、條、ち、及、休

有、志、と、申、奉、者、よ、り、

知、り、所、亦、通、一、衆、難、言、

す、然、然、一、言、忽、止、換

極、と、得、美、を、一、極、め、

古、也

板と得共々を二條の

古板也

三白口日

茶木坊

年

大隈戎部大輔

下執事

白伊其小ト去春所封

西宮と伊其、伊也休

和ト之宮乃十子休家

来ニ日未如と標木口白

下ト休也中ハ也